PL法対応 National

ナショナルマルチエアコン

取扱説明書

ご使用前に、必ずお読みください。

室内ユニット / 室外ユニット

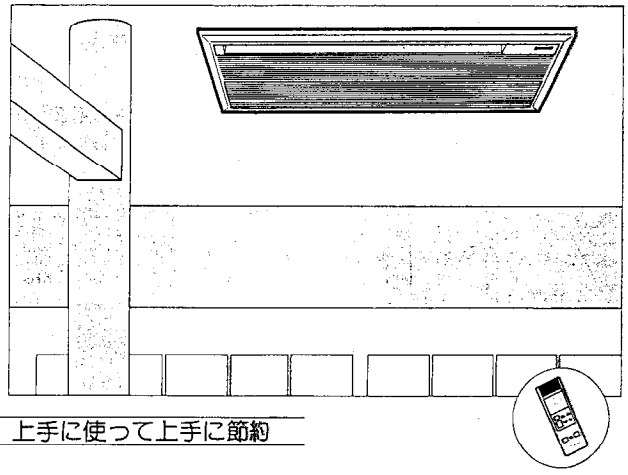
品番 AC-22CEA1-TK　ACS-482B-2IK
AC-32CEA1-TK　ACS-522A-2IK
ACS-683A-2IK

このたびはナショナルマルチエアコンをお買求めいただきまして、まことにありがとうございました。

ご使用前にこの説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。
その後大切に保管し、わからないときもう一度お読みください。
保証書(別添付)は必ず「購入店名・購入日」等の記入を確めて、購入店からお受取りください。

もくじ

- 安全上のご注意……1～3
- このマルチエアコンの特長……4
- 運転まえの確認・準備……5
- リモコンの取扱い……5
- 各部のなまえとはたらき……6～8
- 運転のしかた……9～10
- 自動運転のしくみ……11
- タイマー運転のしかた……11～12
- おやすみコントロール運転のしかた……13
- タイマー運転・おやすみコントロール運転中の変更、確認について……14
- 風向調節のしかた……15～16
- 凍結予防について……17
- 上手な使いかた……18
- お手入れのしかた……19～20
- 故障かな?……21～22
- アフターサービスについて……22
- 仕様……23～25
- おぼえ書き……裏表紙



上手に使って上手に節約

機器名	機器コード						増設番号	通信番号	冷媒番号
AC-32CEA1-TK	0	9	1	8	1	2	4	1	3	0	1	1

安全上のご注意 ―必ずお守りください―

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止していただくため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

⃠	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

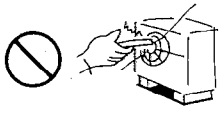
使用上のご注意

⚠警告

冷やしすぎや、長時間冷風をお肌にあてない

とくにおやすみ時にはご注意ください。
体調をくずす原因になります。

吸込口・吹出口に指や棒を入れない



ファンが高速回転しているのでけがの原因になります。

凍結予防のため冬期は専用ブレーカーを「OFF」にしない

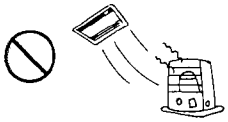
冬期外気温が0℃になりますと温水回路の水が凍結し、温水回路の破損につながります。破損しますと多大な被害を引き起こすことがあります。

⚠注意

ときどき換気をする（2時間に1～2回）

ガス器具といっしょにつかうときはとくにご注意を。換気が不十分だと酸素不足の原因になることがあります。

エアコンの風が直接あたる所にストーブなどを置かない



ストーブなどの不完全燃焼の原因になることがあります。

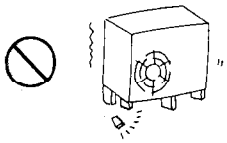
室外ユニットの上に乗ったり物を乗せない

落下・転倒などけがの原因になることがあります。

他の目的に使用しない

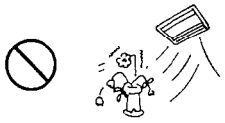
精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに使わない。食品の品質低下等の原因になる。

長期使用で据え付け台がいたんでいないか注意



室外ユニットの落下につながり、けがの原因になることがあります。

動植物に直接風をあてない



動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。

ぬれた手で操作しない

感電の原因になることがあります。

機器コード							情報番号		通番号	
0	9	1	8	1	2	4	1	3	0	2	1

安全上のご注意 —必ずお守りください—

据え付け上のご注意

⚠警告

ご自分で据え付けや移動はしない

不備があると水漏れや感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店または専門業者に依頼ください。

⚠注意

アース工事が必要です

アース線接続

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

可燃性ガスのもれる恐れのある場所へは据え付けしない

ガスがもれてユニットの周囲に溜まると発火の原因になることがあります。

ドレンホースの配管は確実にする

不確実な場合は水もれし家財などをぬらす原因になることがあります。

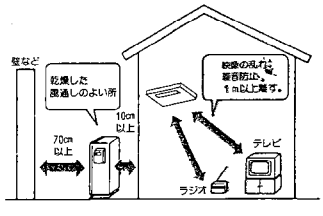
据え付け場所

- 次の場所への据え付けはさけてください。
  - 可燃性ガスのもれるおそれのある所。
  - 海浜地区など、塩分の多い所。
  - 温泉地など、硫化ガスの発生する所。
  - 積雪により、本体がふさがれてしまう所。（防雪の処置が必要です。）
  - 工業用ミシンなど高周波ノイズを発生する機器のある所。
  - 機械加工工場など、機械油の多い所。
  - 室内ユニットからの排水は、水はけのよい所にしてください。

騒音にご配慮を

- 次のような場所をお選びください。
  - エアコンの質量に十分たえ、騒音や振動が増大しない場所。
  - 室外ユニットの吹出口からの風や騒音が隣家の迷惑にならない場所。
- 室外ユニットの吹出口近くに物を置くと、能力の低下や騒音のもとになります。

室内ユニットからの排水は、水はけのよい所に。



電気工事

- 電源は定格電圧をエアコン専用の回路をご使用ください。
- 漏電ブレーカーの取り付けが必要です。取り付けていないと感電の原因になることがあります。

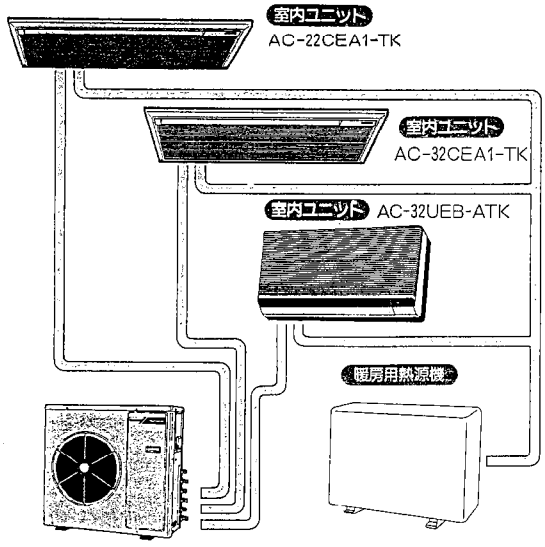
移設・増築・引越し

- 増築・引越しなどで、エアコンを取りはずしたり、再設置をする場合は、専門の技術や工事の費用が必要になります。

このマルチエアコンの特長

このマルチエアコンは

- このマルチエアコンは、２台または３台の室内ユニットを１台の室外ユニットに接続して使用できるタイプです。
- 室内ユニットは、１台の運転はもちろん２台または３台同時の運転もできます。



（図はACS-683A-2IK、ACS-462B-2IK、ACS-522A-2IKは2室用です。）

お手もとのリモコンで、きめ細かな風向調節ができる

ワイヤレスフラップ

- ボタンひとつで、お好みの風向（上下のみ）を調節していただけます。また、吹出す風の温度により風向を自動的に調節したり（暖房時）、羽根をスイングさせる（冷房、ドライ時）風向自動運転もできます。

お望みの時間に運転・停止

同時〔入〕〔切〕タイマー

- 「運転から停止」、「停止から運転」のセットが同時にできます。

インバーター

- インバーター（周波数変換装置）の働きにより、運転開始時にはフルパワーで運転します。お部屋が適温になったら小さな能力に切換えて運転しますので、経済的で快適な冷房ができます。

自動運転

- 運転開始時、ボタンひとつ押すだけ。運転の始めに室温と外気温を検知し、冷房・ドライ暖房のいずれかを選び、室温の設定も自動的におこないます。

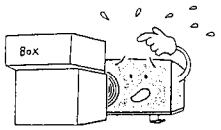
機器コード							情報番号		通し番号		訂正番号
0	9	1	8	1	2	4	1	3	0	3	1

運転まえの確認・準備

次のことをおこなってから 9〜10 ページの運転操作をおこなってください。

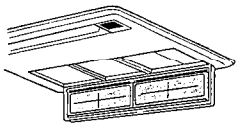
室外ユニット

- 室外ユニットのまわりに障害物などがありませんか。
- 障害物などにより、吹出口や吸込口がふさがれていると正しい運転ができません。
- 自動運転のときに室外ユニットが外気温を検出するので、暖房シーズンでも室外ユニットにカバーなど取りつけないでください。



室内ユニット

- エアフィルターは確実に取付けられていますか。
- ホコリなどがたまっていませんか。



熱源機

- 暖房運転および自動運転で暖房される場合には熱源機（ボイラー）を運転し、温水を循環させたのち室内ユニットの運転をおこなってください。
熱源機の種類によっては、室内ユニットからの運転指令で自動的に熱源機を運転することができます。

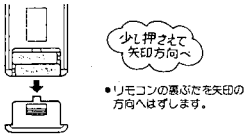
- 暖房シーズンの始めには、各部に水漏れの無いことを確認してください。

リモコンの取扱い

リモコン電池の入れかえ方

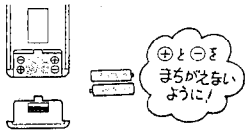
- 電池は、ナショナルネオハイトップ乾電池・単４を２個使用します。電池の寿命は通常のご使用で約１年です。

①リモコンの裏ぶたをはずす



- リモコンの裏ぶたを矢印の方向へはずします。

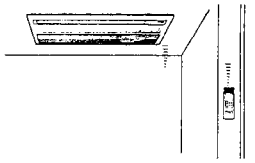
②電池を入れかえる



- 古い電池を必ず同時に全部取り出し、新しい電池をリモコンケースの表示どおりに入れます。
- 充電式(Ni-cd)電池は、普通の乾電池と寸法、形状および性能の一部が異なりますので、使用しないでください。

壁などに取付けて使用する場合

①取付場所

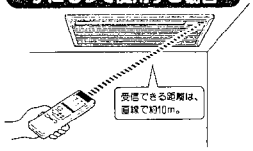


- 事前に信号が本体に受信されることをお確めの上、その位置に取付具をお付けください。

②リモコンを取付具にセットする

- リモコンの上部を取付具の先にひっかけ、次にリモコン下部を取付具側に押してセットします。

手にもって使用する場合



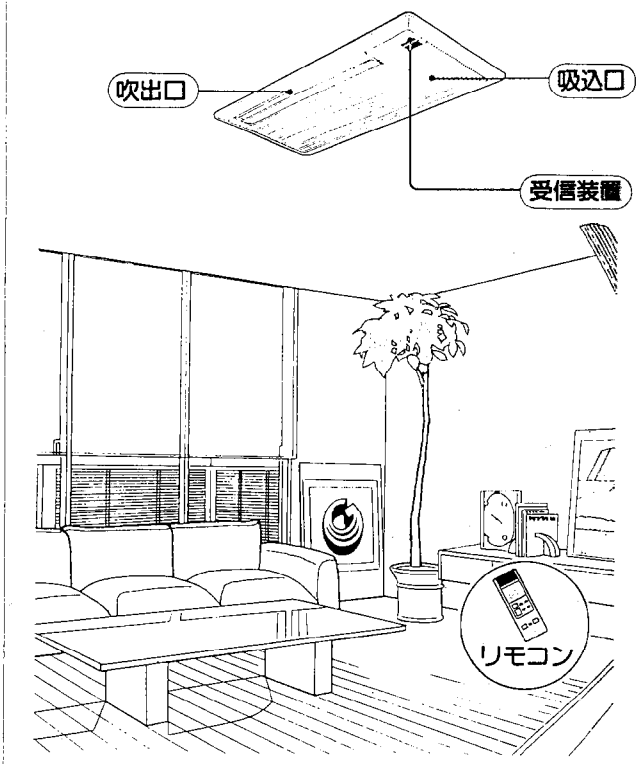
- 発信部を受信部へ向けておこなってください。
- 発信部と受信部の間に信号をさえぎるものがあると動作しません。
- 操作距離は直線で約10mです。

ご注意

- リモコンを投げたり落したりしないでください。また、水をかけないでください。
- 直射日光のあたる所や、ストーブなどの近くに置かないでください。
- 受信音が不安定になったり近よらないと動作しなくなったら電池を取換えてください。
- 電池は古いものや、種類のちがうものとまぜて使わないでください。
- 電池の漏液による故障をさけるため、長期間使用されない場合は電池を全部取り出しておいてください。

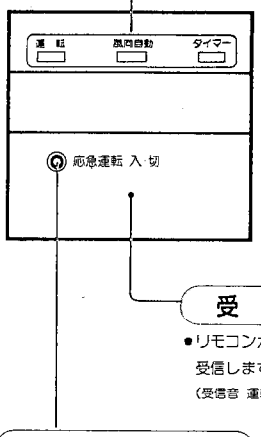
各部のなまえとはたらき①

室内ユニット



運転表示ランプ

●運転中に点灯します。風向自動、タイマーそれぞれのランプはセットした時に点灯します。



受信部

●リモコンからの信号を受信します。
受信しますと受信音がでます。
（受信音 運転のときはピピッ、停止の時はピーッ）

応急運転スイッチ

●リモコン電池が切れたときや、リモコンを紛失したときに、応急的に使用します。
●使い方は13ページをごらんください。

機器コード							情報番号		通し番号		訂正番号
0	9	1	8	1	2	4	1	3	0	4	1

各部のなまえとはたらき②

① 運転切換ボタン

●ボタンを押して、「自動運転」、「暖房」、「ドライ」、「冷房」の切換えをおこないます。

② 温度調節/時間設定ボタン

●設定は16～30℃の範囲でできます。
●△、▽ いずれかボタンを押すと表示部に設定温度が表示されます。「26·27…」などの数字は、設定温度のめやすです。たとえば「27」にしますと、室温はほぼ27℃になります。
●△ を押すと数字が増え、▽ を押すと減ります。
（押し続けると早おくりになります。）
●タイマー運転時には、時間設定ボタンとして使用します。 （11～12ページ参照）

③ 風量切換/時間設定ボタン

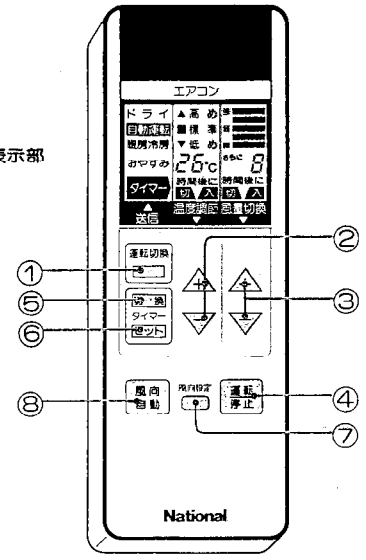
●ボタンを押して、お好みの風量をお選びください。
△ を押すと風量が多くなり、▽ を押すと少なくなります。
●タイマー運転時には、時間設定ボタンとして使用します。（11～12ページ参照）

④ 運転・停止ボタン

●押すと運転を開始します。
（運転表示ランプ点灯）
●点灯中に押すとすべての運転を停止します。

リモコン

表示部



ご注意

●ボタン類はひとつずつ押してください。二つ同時に押すと正しい設定ができません。
●設定変更の送信および送信表示"▲送信"は、各ボタンから手を離した後、おこないます。
●運転・停止ボタンを押しても、表示部は消えませんが異常ではありません。

⑤ タイマー切換ボタン

●ボタンを押して、お望みのタイマー運転をお選びください。 (11~12ページ参照)

⑥ タイマーセットボタン

●押すとタイマーがセットできます。
(タイマー表示ランプ点灯)

⑦ 風向設定ボタン

●リモコンで風向を設定する場合に使用します。
(16ページ参照)

⑧ 風向自動ボタン

●押すと吹出す風の温度により上下の風向を自動的に調節します(暖房時)。また、冷房・ドライ時は、羽根を上下にスイングさせます。
(15ページ参照)

設定の変更

●運転切換、設定温度、風量の設定、風向の変更をされる場合は、それぞれ該当のボタンを押します。押した後、表示部に"▲送信"が点灯し、お望みの設定に切換わります。

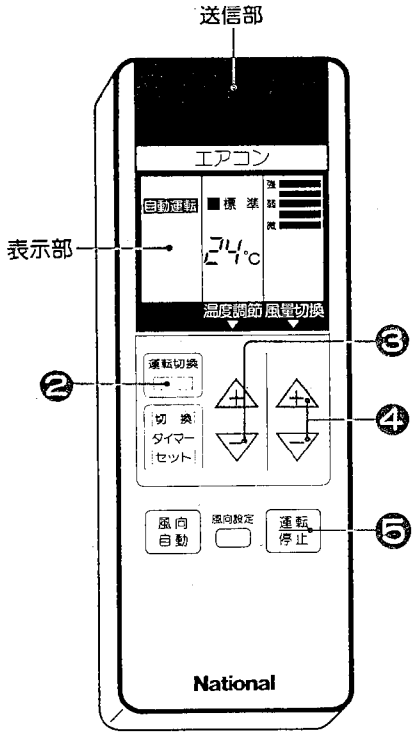
表示部

●図は説明のため、すべて表示させた状態にしてあります。通常は該当部分のみ表示します。

表示	表示内容
ドライ	ドライ運転
▲高め 自動運転 ■標準 ▼低め	自動運転 (表示は、「▲高め」、「■標準」、「▼低め」のいずれか)
暖房 冷房	暖房運転 冷房運転
強 弱 微 風量切換	風量 (▬が増えるごとに風量は強くなります。)
26℃ 温度調節	設定温度 (16~30℃まで設定できます。)
おやすみ タイマー 1 時間後に 切 入 さらに 5 時間後に 切 入	タイマー運転内容を表示します。 (12~13ページ参照)
▲ 送信	運転・停止やタイマーのセットおよび設定を変更するごとに点灯します。

機器コード						情報番号		通し番号	訂正番号
0	9	1	8	1	2	4	1	3	0	5	1

運転のしかた



暖房運転

① 電源(ブレーカー)

●「ON」にします。

② 運転切換ボタン

●押して「暖房」にします。(表示部に"暖房"と表示されるのをご確認ください。)

③ 温度調節ボタン

●通常「20~24」をおすすめします。
「20~24」では寒いとおもわれる場合は△ボタンを押して温度の設定を上げてください。

④ 風量切換ボタン

●ボタンを押してお好みの風量にセットしてください。

⑤ 運転・停止ボタン

●押します。(運転表示ランプ点灯)
(もう一度押すとすべての運転を停止します)

冷房運転

① 電源(ブレーカー)

●「ON」にします。

② 運転切換ボタン

●押して「冷房」にします。(表示部に"冷房"と表示されるのをご確認ください。)

③ 温度調節ボタン

●通常「26~28」をおすすめします。
「26~28」では暑いとおもわれる場合は▽ボタンを押して温度の設定を下げてください。

④ 風量切換ボタン

●ボタンを押してお好みの風量にセットしてください。

⑤ 運転・停止ボタン

●押します。(運転表示ランプ点灯)
(もう一度押すとすべての運転を停止しますが除湿水の処理のため、室内の排水用モータが約30秒間回ります。)

ドライ運転

① 電源（ブレーカー）

●「ON」にします。

② 運転切換ボタン

●押して「ドライ」にします。（表示部に"ドライ"と表示されるのをご確認ください。）

③ 温度調節ボタン

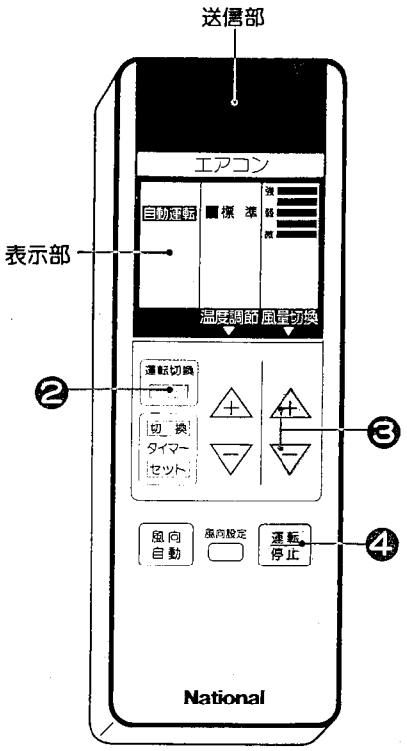
●室温より1～2度低めにセットします。
●セットされた温度までは冷房運転し、その後ドライ運転になります。

④ 風量切換ボタン

●ドライ運転に入ると、自動的に微風よりもさらに少ない風量になります。
●冷房運転中は、設定風量で運転します。

⑤ 運転・停止ボタン

●押します。（運転表示ランプ点灯）
（もう一度押すとすべての運転を停止しますが除湿水の処理のため、室内の排水用モータが約30秒間回ります。）



自動運転

① 電源（ブレーカー）

●「ON」にします。

② 運転切換ボタン

●通常は、「自動運転」の「標準温度」に合せますが、お好みにより「高め」「低め」のセットもできます。「高め」にするには「温度調節ボタン」の△を、「低め」にするには▽を押します。
●「標準温度」では次のように温度設定されます。
暖房時……約22℃
ソフトドライ時…約25℃
冷房時……約27℃
●「高め」では「標準温度」より2℃高め、「低め」では2℃低めに、それぞれセットされます。

③ 風量切換ボタン

●お好みの風量にセットしてください。

④ 運転・停止ボタン

●押します。（運転表示ランプ点灯）
（もう一度押すとすべての運転を停止します）

機器コード						機番	号	通番	号	訂正記号
0	9	1	8	1	2	4	1	3	0	6	1

自動運転のしくみ

●運転は、次のようにして決まります。

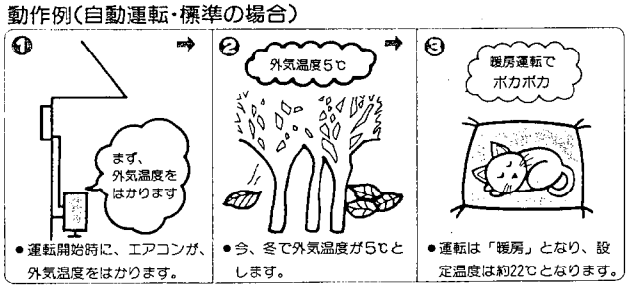
外気温	運転内容	設定温度（標準温度の場合）
25℃以上	冷房	約27℃
25℃未満 21℃以上	ドライ	約25℃
21℃未満 18℃以上	暖房	約23℃
18℃未満	暖房	約22℃

●室温が16℃以下のときは、外気温に関係なく暖房運転になります。

自動運転時には……

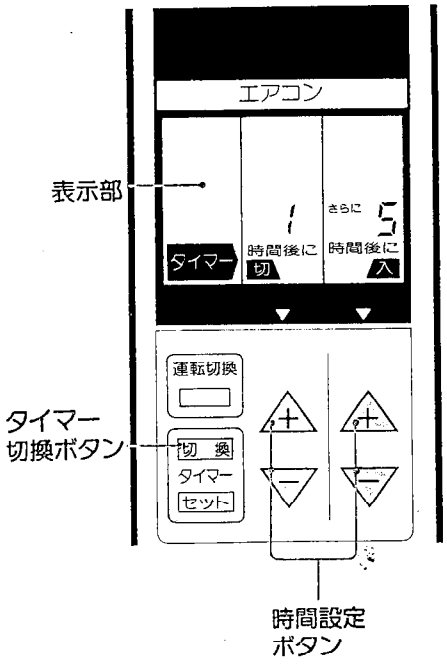
●運転の始めに室温、外気温を検知し、冷房、ドライ、暖房のいずれかをエアコンが決めて運転します。（いったん運転内容が決まりますと運転を停止させるまでは運転内容は変わりません。）
●設定温度はリモコンでの温度調節に関係なく自動的に決まります（上表参照）。室温が約22℃以上での暖房運転、約27℃以下での冷房運転をお望みのときには、「暖房運転」または「冷房運転」に切換え、ご希望の温度にセットしてください。

動作例（自動運転・標準の場合）



タイマー運転のしかた

タイマー運転は9～10ページのいずれかの運転操作をしてからおこなってください。



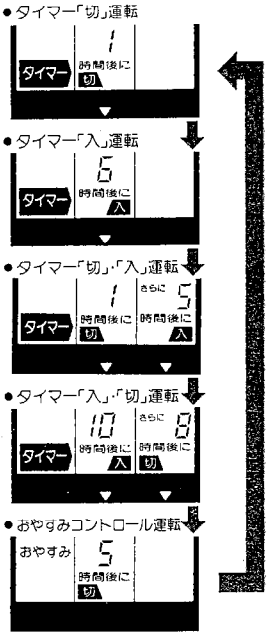
手順1 タイマー切換ボタンを押して、タイマー運転の種類を選びます。

タイマー切換ボタンを押します。 表1 運転の種類(表示例)

- ボタンを押すごとに、表示が切換わります。(表1参照)
- ご希望の表示になりましたら、手順2に従ってください。
- ボタンを押すと、タイマー、▽▽が約30秒間点滅しますので、その間に手順2に従ってお望みのタイマー時間を設定してください。

矢印の順に表示が切換わります。

- タイマー「切」運転
- タイマー「入」運転
- タイマー「切」・「入」運転
- タイマー「入」・「切」運転
- おやすみコントロール運転



ご注意

- タイマー切換ボタンを押して、約30秒間そのままにしておかれますと、お望みの時間が設定できません。
- 約30秒すぎて、お望みの時間が設定できなかった場合は、もう一度タイマー切換ボタンを押します。
  リモコン表示部にタイマー、▽▽が点滅しますので、その間に時間の設定をおこなってください。

手順2 時間設定ボタンで時間を設定します。

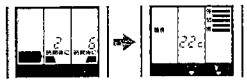
(時間は、1～12時間の範囲で設定できます。)

- 点滅している"▽"の下の△または、▽ボタンを押して、お望みの時間を設定します。
- △を押すと数字が増え、▽を押すと減ります。

手順3 タイマーセットボタンを押します。

タイマーができます。

- 本体タイマーランプが点灯し、タイマーがセットできます。
- リモコン表示部は、約10秒後に「運転のしかた」でセットされたときの表示にもどります。



- タイマーセットの状態を確認されるときは、タイマー切換ボタンを押してご確認ください。(約30秒間、タイマーセットの内容が表示されます。)

機器コード						情報番号		通し番号	
0	9	1	8	1	2	4	1	3	0	7	1

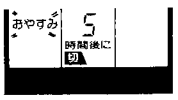
おやすみコントロール運転のしかた

おやすみコントロール運転は、9～10ページのいずれかの運転操作をしてからおこなってください。

運転のしかた

手順1

- タイマー切換ボタンを押して、リモコン表示部に右図の表示が出るのをご確認ください。("おやすみ"の文字が点滅します。)



手順2

- タイマーセットボタンを押します。(本体タイマーランプが点灯し、おやすみコントロール運転がセットできます。)
- おやすみコントロール運転は5時間のみで他の時間は設定できません。

おやすみコントロール運転のしくみ

暖房時

- 風量を微風に切換え、同時に設定温度を2℃引き下げます。さらに1時間後には設定温度を3℃(合計5℃)引き下げます。

冷房・ドライ時

- 風量を微風に切換え(ドライ時は超微風)同時に設定温度を1℃引き上げます。さらに1時間後には設定温度を1℃(合計2℃)引き上げます。

- 暖房・冷房・ドライ時いずれも運転開始から5時間たつと自動的に停止します。

応急運転のしかた

リモコンの電池寿命がなくなったり、紛失などで使用できないときに応急的な運転ができます。

① 運転まえの確認・準備

- 5ページ参照。

② 応急運転スイッチ

押します。

- 運転は「自動運転」となります。(「自動運転のしくみ」参照。)
- 「応急運転スイッチ」をもう一度押すと、応急運転は解除され、エアコンは停止します。

タイマー運転・おやすみコントロール運転中の変更、確認について

連続運転にされたいとき (タイマー・おやすみコントロール運転の解除)	設定した時間を変更されるとき	タイマー運転内容を変更されるとき	タイマーのセット状態を確認されるとき
●タイマーセットボタンを押します。 タイマーランプが消えて、連続運転になります。	●再度、タイマー切換ボタンを押します。表示部の タイマー と "▽▽" が点滅しますので、その間に時間の変更を行います。 ●おやすみコントロール運転は5時間のみで、他の時間への変更はできません。	●タイマー切換ボタンを押し、表示部にお望みの運転種類が表示されるのをご確認ください。その後、手順の2～3をおこないます。	●タイマー切換ボタンを押してください。約30秒間タイマーセット内容が表示されます。

機器コード						情報番号		通し番号		訂正番号
0	9	1	8	1	2	4	1	3	0	8	1

風向調節のしかた①

風向自動運転

風向自動運転のしかた

❶

●9～10ページのいずれか、お望みの運転をします。

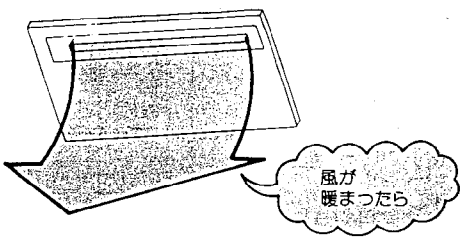
❷

●風向自動ボタンを押します。
(風向自動ランプ点灯)

ご注意

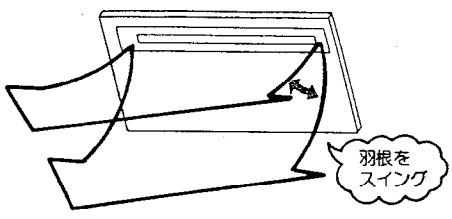
●風向設定運転に切換えたい場合は、そのまま、風向設定ボタンを押してお望みの風向に調節してください。
●再度、風向自動運転にしたい場合は、風向自動ボタンを押してください。
●左右の風向は、自動的には動きませんので、手で操作してください。
●電源が「入」の状態で、リモコンで停止・運転をする場合は、停止時の風向調節の状態で運転を開始します。

暖房時の吹出し



●吹出す風が暖まるまでは、風は出ません。
●風が十分に暖まると真下吹出しとなります。

冷房・ソフトドライ時の吹出し



●真下から上方向50度の範囲で羽根をスイングします。

風向調節のしかた②

風向設定運転

風向設定運転のしかた

❶

●9～10ページのいずれか、お望みの運転をします。

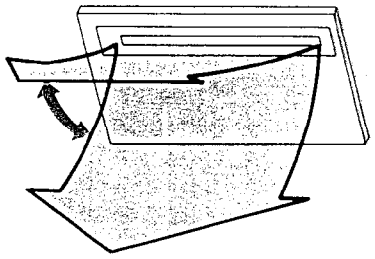
❷

●押すと上下風向調節羽根が上下に動きますので、お望みの位置になったら指を離してください。羽根はその位置で止まります。

ご注意

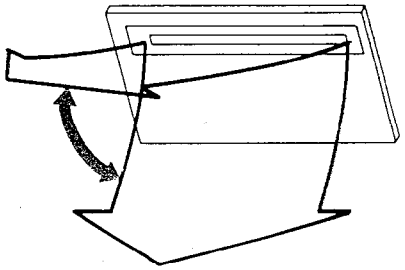
●風向設定は、かならずリモコンの風向設定ボタンを押して、おこなってください。羽根を直接手で動かしますと誤動作することがあります。万一まちがって動かされた場合は、リモコンの運転・停止ボタンで運転を停止にすると正しい位置に戻ります。

暖房時



●真下から上方向50度の範囲で設定できます。

冷房・ドライ時



●真下から上方向50度の範囲で設定できます。

機器コード						機番	通し番号	訂正番号
0	9	1	8	1	2	4	1 3	0 9	1

凍結予防について

●冬期外気温が0℃になりますと熱交換器や温水配管の水が凍結し破損することがあります。配管や器具が破損しますと、水もれにより多大な被害を引き起こしますので、必ずシステムに適合した凍結予防策を実施してください。凍結予防制御を内蔵していますので暖房用室外機でポンプ運転できる場合は水を循環させ、かつエアコン専用ブレーカーを「OFF」にしないでください。

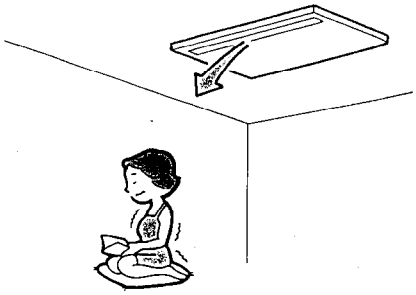
冷房運転中の凍結予防

●冷房運転中、室内温度が異常に低いとき、またはエアフィルターの目づまりによって風量が著しく減少したときなどに、熱交換器が凍結し破損するのを予防するため保護装置により一時、冷房運転が停止することがあります。

上手な使いかた

ムダな電力を節約し、快適にお使いいただくために

暖めすぎ、冷やしすぎは禁物

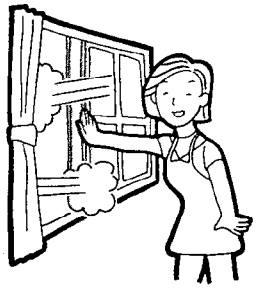


健康によくありませんし、電気のむだ使いになります。

窓や戸はきちんと閉めて

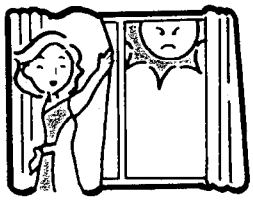
冷風や温風がお部屋から逃げないように、窓や戸は必要以上に開けないようにしてください。

ときどき換気を



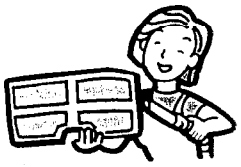
窓を閉めきることが多いので、ときどき換気をしてください。

窓にはカーテンを



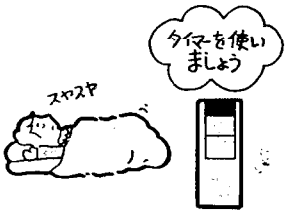
冷房運転時にはカーテンなどを閉め、直射日光が入らないように。暖房時には床にカーペットを敷きますと効果が増します。

エアフィルターの清掃を



エアフィルターの目づまりは、風量をへらし、冷暖房・除湿効果を弱めます。1か月半に1回がめやす。

タイマーを使いましょう



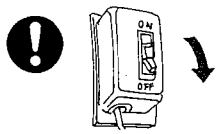
タイマーを使って必要な時間だけ運転してください。

機器コード						接続番号		通し番号		訂正番号
0	9	1	8	1	2	4	1	3	1	0	1

お手入れのしかた

⚠注意

エアコンをそうじするときは運転を止めて専用ブレーカーを「OFF」にする



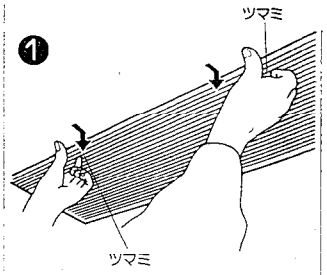
ファンが高速回転しているので、けがの原因になることがあります。

エアコンは直接水洗いしない

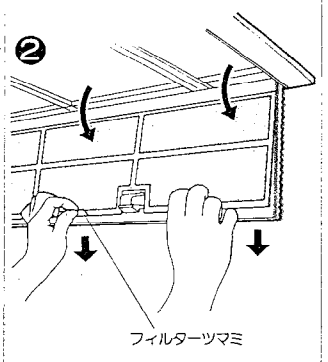
感電の原因になることがあります。

エアフィルターの清掃
1か月半に1回がめやす

エアフィルターのはずしかた



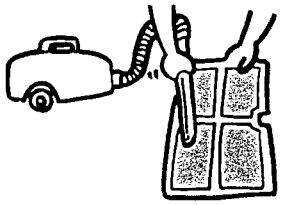
❶吸込口のツマミ(2個所)を持ち、いったん押してから手前へ開けます。(フィルターのゴミなどが目に入らないよう、静かにおこなってください。)



❷フィルターのツマミを持ち、フィルター固定部からフィルターをはずします。

●清掃後は逆の手順で取付けてください

清掃のしかた



エアフィルターの清掃

- 掃除機を使うか、40℃以下の水で洗ってください。
- 汚れがひどい場合は、台所用洗剤を使って軽く水洗いします。あと充分すすいでから陰干しにして乾かします。
- 清掃後は、必ず元通りに取付けてください。
- エアフィルターがこわれたときは、購入店でご購入ください。

ベンジン・シンナー・みがき粉・化学ぞうきんなど。

本体の清掃

- やわらかい布でから拭きしてください。
- 左図のようなものは使わないでください。塗装のはがれや傷の原因になります。

1カ月以上、ご使用にならないときは

❶エアコン内部を乾燥させるために、次の設定で2～3時間運転します。

- 運転切換ツマミを「冷房」に、設定温度は「30」にします。

❷運転を停止し、専用ブレーカーを「OFF」にします。

- リモコンで停止の時は、数10ワットの電力を消費します。
（くわしくは23～25ページ参照）

❸リモコンの電池を抜きます。

- リモコンは、ワイヤレスタイプです。紛失されないように取付具に付けるか、わかりやすい場所に大切に保管してください。

機器コード							情報番号		通し番号		訂正番号
0	9	1	8	1	2	4	1	3	1	1	1

故障かな？（ちょっとお調べください）

症状	原因
リモコンの表示がうすい 表示しない	●電池切れではありませんか。 ●電池の⊕⊖が逆になっていませんか。
運転しない	●専用ブレーカーまたはヒューズが切れていませんか。 ●電池の⊕⊖が逆になっていませんか。または、寿命がなくなっていませんか。 ●タイマーの使い方をまちがっていませんか。 ●停電ではありませんか。
よく冷えない よく暖まらない	●温度調節のしかたをまちがっていませんか。 ●エアフィルターが汚れていませんか。 ●室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか。 ●窓やドアが開いたままになっていませんか。 ●在室人員が多すぎるのではありませんか。 ●リモコンの信号は届いていますか。

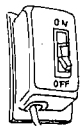
故障かな？（いいえだいじょうぶ）

部屋がにおう	●壁やじゅうたん・家具・衣類などにしみ込んでいるにおいが出てくることがあります。これらのにおいではありませんか。
水が流れるような音がする	●エアコンの内部に冷媒が流れているからです。 ●停止中でも室温が下がりますと配管の凍結を防止するため弁が開いて水が流れることがあります。
暖房運転のとき、すぐに風が出ない	●暖まっていない風を出すと、肌寒さを感じます。これをさけるためです。風が十分に暖まったら吹出します。
再運転しても、3分くらい運転しない	●エアコンを保護するために再運転を遅延させています。そのまま、しばらくお待ちください。
暖房運転のとき、エアコン内部から音がする。	●暖房運転を開始すると、本体が温水で暖められて膨張することにより音がでることがあります。
霧が出ているようにみえる	●お部屋の空気がエアコンから吹出した冷たい風で冷やされ霧状になるためです。（冷房・ドライ時）
停止しても室内ユニットよりモーター音がする。	●排水処理のため、停止後30秒間、室内ユニットの排水用モーターが回ります。（冷房・ドライ時）

故障かな？（すぐに販売店へ）

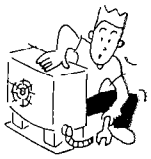
⚠警告

異常時（こげ臭いなど）は運転を止めて
専用ブレーカーを
「OFF」にする



異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります。
●お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。

修理はご自分でしない



修理に不備があると感電や火災の原因になります。
●お買い上げの販売店または修理相談窓口にご相談ください。

次の症状の時は、ただちに専用ブレーカーを「OFF」にし、購入店へご連絡ください。

- 専用ブレーカーやヒューズがたびたび切れるとき。
- スイッチの作動が不確実なとき。
- 誤まって異物や水を入れてしまったとき。
- 使用中に異常音がするとき。
- 運転表示ランプが点滅して運転しなくなったとき。

アフターサービスについて

1. 保証書（別添付）

保証書は購入店からお渡し致しますから、必ず「購入店名・購入日」などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

保証期間　お買求めの日から１年間、ただし冷媒回路については３年間です。

2. 保証期間中に修理を依頼されるとき

「故障かな？」（21ページ参照）に従って調べていただき、なお異常のあるときは、運転を停止し必ず専用ブレーカーを「OFF」にしてから、購入店にご連絡ください。保証書の記載内容により、修理致します。

〈連絡していただきたい内容〉

- ご住所　●ご氏名　●電話番号　●製品名　●品番
- ご購入日（保証書をごらんください。）
- 異常の状況（できるだけ詳しく）　●訪問ご希望日

もし保証書を紛失されますと、保証期間中であっても保証対象外となりますのでご注意ください。

3. 保証期間経過後、修理を依頼されるとき

購入店に、ご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理致します。

4. 補修用性能部品の最低保有期間

エアコンの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後９年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 点検整備

ユニットを数シーズンご使用になりますと内部が汚れ性能が低下することがあります。ご使用状態によってはにおいが発生したり、ゴミ・ホコリなどにより除湿水の排水が悪くなることもあります。通常のお手入れとは別に点検整備（有料）をおすすめします。点検整備はお買求めの購入店にご相談ください。

6. その他ご不明な点は

購入店にお問合わせください。
なお、ガス事業者の相談窓口については、事業所一覧（別添付）をご参照ください。

機器コード							機番	通番	訂正番号
0	9	1	8	1	2	4	1 3	1 2	1

仕様

室内・室外の組合せ			室内ユニット		室外ユニット
			AC-22CEA1-TK	AC-32CEA1-TK	ACS-482B-21K
種類			冷房・暖房兼用マルチ型		
電源			単相200V 50/60Hz		
冷房	能力 (kW)	1台	22：2.5	32：3.6	
		2台	22×2：2.2×2	22+32：2.2+3.4	
	運転電流 (A)	1台	22：5.4	32：7.2	
		2台	22×2：9.2	22+32：12.5	
	消費電力 (W)	1台	22：950	32：1260	
		2台	22×2：1690	22+32：2300	
	除湿能力 (ℓ/h)	1台	22：1.4	32：1.8	
		2台	22×2：1.4×2	22+32：1.4+1.8	
	冷房面積の目安(㎡) 鉄筋アパート	1台	22：17	32：25	
	南向き洋室	2台	22×2：15×2	22+32：15+23	
	木造南向き	1台	22：11	32：16	
	和室	2台	22×2：10×2	22+32：10+15	
暖房	能力 kW(kcal/h)		3.5(3,000)	4.1(3,500)	
	消費電力 (W)		25	40	——
	水量 (ℓ/min)		2.0		——
	損失水頭 MPa(mH₂O)		0.0069(0.7)	0.0069(0.7)	——
温水用配管接続口		入口管	M14フレアー		——
		出口管	M14フレアー		——
圧縮機出力 (W)					950
送風機出力 (W)			25		20
風量 (㎥/min)			8	10	23
騒音 (dB)			39	45	47
質量 (kg)			19	19	53
外形寸法(高さ×幅×奥行) (mm)			185×870×390		590×800×295
付属品			リモコン　単4乾電池2個		

- 冷房運転特性、騒音及び冷房面積の目安は、JIS（日本工業規格）に基づいた数値です。
- 除湿能力は、室内温度27℃、室内湿度60%の冷房運転の場合を示します。
- 室内ユニット、室外ユニットの幅の寸法には配管接続口部分は含まれていません。
- リモコンで「停止」のときの消費電力は最大約25ワットです。
- この仕様の数値は50Hz、60Hz共通です。
- 表中の"22"はAC-22CEA1-TK、"32"はAC-32CEA1-TKを示します。

室内・室外の組合せ			室内ユニット			室外ユニット
			AC-22CEA1-TK	AC-32CEA1-TK		ACS-522A-21K
種類			冷房・暖房兼用マルチ型			
電源			単相200V 50/60Hz			
冷房	能力 (kW)	1台	22：2.5		32：3.6	
		2台	22×2：2.2×2	22+32：2.0+3.2	32×2：2.8×2	
	運転電流 (A)	1台	22：8.5		32：12.5	
		2台	22×2：14.5	22+32：18.6	32×2：19.2	
	消費電力 (W)	1台	22：1,550		32：2,370	
		2台	22×2：2,750	22+32：3,530	32×2：3,650	
	除湿能力 (ℓ/h)	1台	22：1.6		32：2.0	
		2台	22×2：1.4×2	22+32：1.2+1.8	32×2：1.8×2	
	冷房面積の目安(㎡) 鉄筋アパート 南向き洋室	1台	22：17		32：25	
		2台	22×2：15×2	22+32：14+22	32×2：19×2	
	冷房面積の目安(㎡) 木造南向き 和室	1台	22：11		32：16	
		2台	22×2：10×2	22+32：9+15	32×2：13×2	
暖房	能力 kW(kcal/h)		3.5(3,000)	4.1(3,500)		――
	消費電力 (W)		25	40		――
	水量 (ℓ/min)		2.0			――
	損失水頭 MPa(mH_2O)		0.0069(0.7)	0.0069(0.7)		――
温水用配管接続口		入口管	M14フレアー			――
		出口管	M14フレアー			――
圧縮機出力 (W)			――			1,500
送風機出力 (W)			25			15(5×3)
風量 (㎥/min)			8	10		24
騒音 (dB)			39	45		47
質量 (kg)			19	19		83
外形寸法(高さ×幅×奥行) (mm)			185×870×390			1,100×600×310
付属品			リモコン 単4乾電池2個			

- 冷房運転特性、騒音及び冷房面積の目安は、JIS(日本工業規格)に基づいた数値です。
- 除湿能力は、室内温度27℃、室内湿度60%の冷房運転の場合を示します。
- 室内ユニット、室外ユニットの幅の寸法には配管接続口部分は含まれていません。
- リモコンで"停止"のときの消費電力は最大約22ワットです。
- この仕様の数値は50Hz、60Hz共通です。
- 表中の"22"はAC-22CEA1-TK、"32"はAC-32CEA1-TKを示します。

機器コード							情報番号		通し番号		訂正番号
0	9	1	8	1	2	4	1	3	1	3	1

仕様

室内・室外の組合せ			室内ユニット			室外ユニット
			AC-22CEA1-TK	AC-32CEA1-TK		ACS-683A-21K
種類			冷房・暖房兼用マルチ型			
電源			単相200V 50/60Hz			
冷房	能力 (kW)	1台	22：2.5		32：3.6	
		2台	22×2：2.2×2	22+32：2.0+3.2	32×2：3.2×2	
		3台	22×3：2.2×3	22×2+32：2.0×2+3.2	22+32×2：1.8+2.8×2	
	運転電流 (A)	1台	22：7.9		32：9.4	
		2台	22×2：12.0	22+32：13.9	32×2：15.1	
		3台	22×3：20.2	22×2+32：21.0	22+32×2：21.3	
	消費電力 (W)	1台	22：1,350		32：1,630	
		2台	22×2：2,200	22+32：2,530	32×2：2,800	
		3台	22×3：3,680	22×2+32：3,830	22+32×2：3,890	
	除湿能力 (ℓ/h)	1台	22：1.6		32：2.0	
		2台	22×2：1.4×2	22+32：1.2+1.8	32×2：1.8×2	
		3台	22×3：1.2×3	22×2+32：1.2×2+1.8	22+32×2：1.0+1.6×2	
	冷房面積の目安(㎡) 鉄筋アパート 南向き洋室	1台	22：17		32：25	
		2台	22×2：15×2	22+32：14+22	32×2：22×2	
		3台	22×3：15×3	22×2+32：14×2+22	22+32×2：12+19×2	
	冷房面積の目安(㎡) 木造南向き 和室	1台	22：11		32：16	
		2台	22×2：10×2	22+32：9+15	32×2：15×2	
		3台	22×3：10×3	22×2+32：9×2+15	22+32×2：8+13×2	
暖房	能力 kW(kcal/h)		3.5(3,000)	4.1(3,500)		――
	消費電力 (W)		25	40		――
	水量 (ℓ/min)		2.0			――
	損失水頭 MPa(mH_2O)		0.0069(0.7)	0.0069(0.7)		――
温水用配管接続口		入口管	M14フレアー			――
		出口管	M14フレアー			――
圧縮機出力 (W)			――			2,000
送風機出力 (W)			25			45
風量 (㎥/min)			8	10		38
騒音 (dB)			39	45		48
質量 (kg)			19	19		82
外形寸法(高さ×幅×奥行) (mm)			185×870×390			824×860×320
付属品			リモコン 単4乾電池2個			

- 冷房運転特性、騒音及び冷房面積の目安は、JIS(日本工業規格)に基づいた数値です。
- 除湿能力は、室内温度27℃、室内湿度60%の冷房運転の場合を示します。
- 室内ユニット、室外ユニットの幅の寸法には配管接続口部分は含まれていません。
- リモコンで"停止"のときの消費電力は最大約22ワットです。
- この仕様の数値は50Hz、60Hz共通です。
- 表中の"22"はAC-22CEA1-TK、"32"はAC-32CEA1-TKを示します。